
第7回 しながわエコリンク 環境監査結果報告書

(令和3年11月)

環境監査結果報告書 目次

1. 環境監査概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2
2. 令和3年度環境監査結果概要・・・・・・・・・・ P 3
3. 令和3年度環境監査結果まとめ・・・・・・・・・・ P 4

1. 環境監査概要

(1) 根拠

しながわエコリンク運用マニュアル

(2) 目的

しながわエコリンクの運用・取組が適切に機能しているか等を確認することにより、しながわエコリンクの運用状況を点検すること。

(3) 実施内容

- ① 環境プログラムの内容および運用状況の確認
- ② 環境法令遵守状況の確認
- ③ 優れた環境改善・保全活動の発見
- ④ 職場研修の実施状況の確認

(4) 重点監査項目

環境法令遵守状況の確認

優れた環境改善・保全活動の発見

令和3年度環境監査結果概要

環境監査員		監査対象施設	優良	適切	改善 提案	指摘	
①	企画部 総務部	【主任】大澤 幸代	子育て応援課	1	3		
		大川 雅代	荏原第二地域センター	1	5	2	
		橋本 京子	荏原いきいき倶楽部	1	3	1	
②	地域振興部 文化スポーツ振興部 教育委員会事務局	【主任】中西 俊介	経理課	2	5	1	
		下川原 孝	伊藤児童センター	1	5		
		小出 和世	伊藤保育園	2	6		
③	子ども未来部 監査委員会事務局	【主任】初貝 誠利	高齢者地域支援課	1	2		
		島根 祐太	旗の台文化センター	1	2		
		吉岡 真由子	旗台小学校	1	2	1	
④	福祉部 選挙管理委員会事務局	【主任】築山 憩	公園課	2	3	2	
		原田 千津子	品川区清掃事務所北品川分室	1	5	1	
		榎木 剛	品川学園	1	6	1	
⑤	健康推進部 品川区保健所	【主任】高山 崇	指導課		6	1	
		長谷川 彰	荏原第五地域センター	1	5	1	
		石井 隆行	子ども家庭支援センター		5	2	
⑥	都市環境部 品川区清掃事務所 区議会事務局	【主任】河内 崇	防災課	2	2		
		村田 紀之	戸越体育館	2	3		
		吉田 恭子	戸越小学校	1	2		
⑦	防災まちづくり部 会計管理室	【主任】溝口 雅之	健康課	1	3		
		石井 修二郎	平塚保育園	3	4		
		田端 和樹	平塚高齢者多世代交流支援施設	1	5		
合計件数			26	82	13	0	

令和3年度環境監査結果まとめ

(1) 優良事項一覧

選出区分	部署名	内容
①	子育て応援課	複合機に「コピーは必要な枚数のみ」「個人情報はシュレッダー」と掲示し、職員への環境に配慮することの意識付けを行っている。
	荏原第二地域センター	裏紙用紙の活用や使用済封筒の再利用を行い、それらの保管場所も定位置に定められ、使いやすいように整理整頓されていた。区民の方向への配布物（ティッシュやバッチ等）の入れ物も、お菓子の箱を再利用するなど、資源の活用に努めている。
	荏原いきいき倶楽部	利用者にゴミの持ち帰りの協力依頼を行っている。近隣に自動販売機やお店がなく、マイボトルを利用される方が多く、ゴミが出た際は持ち帰ってもらっている。
②	経理課	マニフェスト、定期点検の記録簿が、種類ごとに誰でもわかるように整理整頓されている。
		壁に緩衝シートを貼付し、保温効果を高め省エネに努めていた。
	伊藤児童センター	コロナ禍の影響から衣服のリユース会は中断となっている中で、温暖化対策の一環として行っているグリーンカーテン（ゴーヤ、アサガオ等）の取り組みを食育にもつなげ、子どもや家庭も含めて効果的な取り組みとなっていた。
	伊藤保育園	エコリンク研修実施後に、心がける環境対策の取り組みを職員一人ひとりがカードに記入し、事務室に掲示することで職員の環境配慮の意識が醸成されていた。
選挙時の廃材や園の事業で出た廃材を活用し、子どもたちと制作を行うことで子どもたちも含めた環境配慮への取り組みが行われていた。		
③	高齢者地域支援課	各個人が毎月印刷した用紙枚数を課内供覧することで、職員のエコリンクへの意識付けを行っていた。
	旗の台文化センター	照明・空調の適切な運用にあたり、職員だけでなく、施設利用者に対しても、受付の際に利用終了後の照明の消灯や空調の適温設定（個別空調のため）の周知を行っている。
	旗台小学校	各家庭からのテトラパックやプリンターカートリッジ等の回収を積極的に行っているほか、各クラスに環境ボランティア委員会を設置し生徒たちもごみの再資源化に努めている。

選出区分	部署名	内容
④	公園課	紙使用量削減のための具体的な注意喚起として、複合機に「印刷資料のNアップ化の再確認」についてわかりやすい表示がされてあった。 公園の樹木伐採時に出た枝などはごみとして適切に廃棄処理するだけでなく、一部を希望する地域住民に木材等として提供するなど資源の再利用を図っている。
	品川区清掃事務所北品川分室	コロナでごみ回収量が増えている中、分別やリサイクルに関する区民への普及啓発方法の工夫に努めており、環境への配慮に大きく貢献している。
	品川学園	トイレにおける雨水利用や、太陽光発電などの設備がある施設という部分を活かして、児童に環境配慮への興味や意識を持たせる工夫をしている。
⑤	荏原第五地域センター	古紙を地区へ配布する大判ポスターの帯留めに使用、厚紙を切り取り板目として活用、裏面用紙を使用するなど、紙削減に向けた各種取り組みを実施していた。また、区民向け印刷機や職員用電動自転車の充電器のコンセントを抜く、職員のエレベーター使用を原則禁止にするなど、節電への取り組みを実施しており、総じて環境活動の工夫がみられた。
⑥	防災課	選挙管理委員会の使用済み物品のうち、「マグネットステッカー」を街頭消火器の住居表示を誰でも必ず直角に貼れるようにするツールとして再利用したり、「使用済み選挙ポスター掲示板」から台車や手指消毒用の足踏み器、棚や小箱などを作成したりと、様々な用途に再利用し、資源の有効活用につなげていた。 期限間近な備蓄品について、コロナ禍でイベント等の開催が困難ななか、関係各所と連携して無駄にしない取り組みを続け、フードロス削減および廃棄時CO2の削減につなげていた。
	戸越体育館	委託スタッフに対しても、「しながわエコリンクミニガイド」を用いた周知・研修を実施しており、その成果として委託スタッフからも省エネルギー・省資源活動の推進を目的とする業務改善の提案が出されるなど、施設全体での環境意識の向上につながっていた。 低炭素の電力会社への切替を実現し、CO2削減に貢献していた。
	戸越小学校	印刷室内が大変美しく機能的に整理整頓されており、印刷用紙を梱包していた紙に至るまで、再利用しやすいよう工夫されていた。 用紙の置き場所・分別方法等が一目でわかるような独自のポスターや児童作の環境保全啓発ポスターが、印刷室の目立つ場所に貼られているなど、環境に対する意識を職員間で共有し、高めていける工夫が随所に見受けられ、全校一丸となって環境保全に真摯に取り組まれていくという姿勢を強く感じた。

選出 区分	部署名	内容
⑦	健康課	封筒の再利用や古紙の利用がしやすいようにするため、それらがわかりやすいような場所にしっかり表記してあった。
	平塚保育園	保育園で出た牛乳パックを利用して、子ども達に舟などを工作させることにより、楽しみながら資源の再利用をすることをやっている。
		エコキャップに関しては、家庭で集めたものを持ってくる子ども達がいるということで、資源の再利用という意識を子どもだけでなく、その家庭も取り組む意識が広がっている。
	平塚高齢者多世代交流支援施設	コロナ禍ということもあり、これまでのごみの分別に加えて、鼻水のごみ箱を追加したが子ども達はきちんと分別していた。 階段部における暑さ対策のため遮光カーテンおよびグリーンカーテンを設置。遮光カーテンの長さを子どもが届かないような長さにする工夫があった。また、グリーンカーテンは利用者と協力して設置している。環境への配慮に加えて利用者の観点も加えた工夫、施設管理者および利用者が協力して取り組んでいる。

(2) 適切事項一覧

選出区分	部署名	内容	
①	子育て応援課	環境方針を掲示している。	
		裏面活用、封筒の再利用、Nアップ印刷に努め、コピー枚数を昨年より削減している。	
		昼は窓口以外消灯している。	
	荏原第二地域センター	環境方針を掲示している。	
		昼休みは窓側の不要な照明を消灯している。	
		電気ポットは使用せず、冬のみ保温ポットを使用している。	
		エネルギーの見える化を行い、職員全員で情報共有している。	
	荏原いきいき倶楽部	介護予防拠点の一つであり、業者に管理委託を依頼しており、区職員は常駐していない。委託業者に環境プログラムを渡し、活動の協力依頼を行っている。	
		マニフェストが適正に管理されていた。	
		委託業者に研修資料を送付し、確認してもらっている。	
	②	経理課	機械室や廃棄物保管場所の掲示が見やすく掲示されていた。
			所管する施設、部屋の状況を的確に把握し、速やかに説明ができる体制が整えられている。
伊藤児童センター		コロナ禍の影響により、様々な事業が中止となる中で消耗品や紙媒体の精査を行うなど、できることから環境配慮の取り組みを行っていた。	
		消灯についても委託事業者の責任者を中心に徹底されていた。	
		廃棄物保管場所の掲示が適切になされていた。	
伊藤保育園		マニフェストや点検報告書等の書類については、保育課と連携し、適切な保存・誰でもわかる体制が構築されていた。	
		感染防止の関係から、夏場でも換気を行う必要があり、空調の適切な運用に苦慮していたが、今年度は、クールネックタオルの活用などにより適切な運用に心がけていた。	

選出区分	部署名	内容
③	高齢者地域支援課	消灯当番を定め、昼休みや残業中の不要な照明の消灯が実施されていた。
		リサイクルボックスを活用し、古紙回収が徹底されていた。
	旗の台文化センター	フロン排出抑制法が順守されている。
		裏面活用できる用紙をストックし、紙の使用量削減の取り組みを実施している。
	旗台小学校	廃棄物処理法が順守されている。
		劇物取扱法が順守されている。
④	公園課	エコリンク職場内研修において、全員の受講のためあらかじめ2回に分けて実施するなど、出先機関を抱える組織として工夫しながら良好に行っている。
		公園の水道などに漏水が出た場合は、水の使用量を増やさないため迅速に修理できるような体制をとっている。
		しながわ水族館のエアコン機器の点検については管理業者がチェックすることになっているが、その内容について公園課でも確認するため、細かい報告をきちんと提出してもらっている。
	品川区清掃事務所北品川分室	シフト勤務のため、消灯を一斉に行うのは難しいが、職員不在の部屋はこまめに見て回って消灯し、節電に努めている。
		エコリンク職場内研修については、紙の節減のためイントラの回覧で行っており、パソコンの台数が少ない中、交代して実施し、2日間で49人全員修了した。
	品川学園	施設設備は業者が一括管理しており、1日2回定時で一斉に空調を停止するなど、省エネルギーに努めている。
		紙の使用については、教育活動とのバランスを見ながら、極力おさえるよう努力をしている。
		エコリンク職場内研修は、職員数が多いにも関わらず、朝の職員会議内でなどこまめに行っており、全員受講済みであった。

選出 区分	部署名	内容
⑤	指導課	役職および役割について、課内の運用体制が構築されていた。
		環境プログラム管理表について、選定された管理項目に対する具体的な活動が適切に評価されていた。
		環境法令違反等は見られなかった。
		研修について欠席者へのフォローも含め適切に実施されていた。
		電気パネルへのシール貼付や早期退庁を促す掲出に工夫が見られた。
⑤	荏原第五地域センター	役職および役割について、課内の運用体制が構築されていた。
		環境プログラム管理表について、選定された管理項目に対する具体的な活動が適切に評価されていた。
		環境法令違反等は見られなかった。
		研修についてパワーポイントを活用し適切に実施されていた。
⑤	子ども家庭支援センター	役職および役割について、課内の運用体制が構築されていた。
		環境プログラム管理表について、選定された管理項目に対する具体的な活動が適切に評価されていた。
		研修について、全職員に対し適切に実施されていた。
		紙の有効活用や節電への取り組みにおいて、適切に行われていた。

選出区分	部署名	内容
⑥	防災課	防災課で使用するサーバーのうち可能なものは情報推進課のサーバーへの移行を行い、防災課独自のサーバーの台数を減らすことで省電力につなげていた。
		会議・研修等をペーパーレス化し、参加者が資料をパソコン上で参照することで、省資源につなげていた。
	戸越体育館	省エネ・省資源のためにできることを箇条書きにしたポスターや節水を呼びかけるシールを独自に作成し、事務所内に設置するなど、環境に対する意識付けの工夫が見受けられた。
		施設内の空調やシャワーについて、過剰な温度設定になるのを防ぐため、温度設定を固定し、利用者が温度設定の変更をできないよう管理していた。
		照明を白熱灯からLEDに変更して消費電力を削減し、トイレの照明や水道も人感センサーにするなど、設備面からも省エネ・節水に取り組んでいた。
	戸越小学校	雨の日のイベント等にも使い捨ての傘袋を使用しない取り組みを続け、プラスチックごみの削減につなげていた。
iPad上で課題の配付・回収等を行うことができる学習支援システム「ロイロノート」を積極的に活用し、印刷物等の削減につなげていた。		
⑦	健康課	照明の適切な運用がされていた。
		紙使用量の削減について適切な運用がされていた。
		職場研修が適切に実施されていた。
	平塚保育園	給湯機器の適切な運用がされていた。
		空調の適切な運用がされていた。
		産業廃棄物処理法に基づくマニフェストおよび保管場所を確認した結果、適切に実施されていた。
		職場研修が適切に実施されていた。
	平塚高齢者多世代交流支援施設	照明の適切な運用がされていた。
		紙使用量の削減について適切な運用がされていた。
		産業廃棄物処理法に基づくマニフェストおよび保管場所を確認した結果、適切に実施されていた。
フロン排出抑制法について各施設の定期点検など適切に実施されていた。		
職場研修が適切に実施されていた。		

(3)改善提案事項一覧

選出区分	部署名	内容
①	荏原第二地域センター	マニフェストA票の照合確認欄に、各票の返却日の記入がもれている。B2票、D票、E票は適切に管理されていた。
		産業廃棄物保管場所の掲示板を貼っているガムテープの一部が剥がれそうになっていた。
	荏原いきいき倶楽部	環境プログラム管理表と環境法令チェック表に、フロン排出抑制法の記載が不足している。本課である高齢者地域支援課にてまとめて記載されているとのことだが、次年度以降は施設毎に記入するよう依頼した。
②	経理課	第二庁舎1階の廃棄物保管場所において、担当者への連絡先の掲示が最新の情報となっていない。
③	旗台小学校	校長室や職員室にて、電気ポットの使用を確認した。来客対応など、必要性は理解できるものの、保温ポットへの変更検討を依頼。
④	公園課	公園の管理運営委託契約の仕様書では、運営上で出た廃棄物の管理については受託者が行うこととなっている。ヒアリングでは受託者が現場でどのような管理を行っているかを公園課において把握しきれていないように見受けられた。今後は廃棄物の管理状況を確認する機会を持つとよい。
		マニフェストの運搬事業者等からの返送分について、ヒアリングの中でA票との照合作業および書類の保管について適切に行っていることは確認できたが、各票の受領日のA票への転記もれが見られた。
	品川区清掃事務所北品川分室	産業廃棄物保管場所の掲示板について、一見でわからないところがあったため、目につくところに表示することを助言する。
	品川学園	マニフェストの運搬事業者等からの返送分について、ヒアリングの中でA票との照合作業および書類の保管について適切に行っていることは確認できたが、各票の受領日のA票への転記もれが見られた。

⑤	指導課	課内に冷蔵庫が設置されていたが、「家電リサイクル法」の該当項目に記載が無かった。
	荏原第五地域センター	機器の簡易点検周期が3ヵ月を超過していた。ただし、機器点検（簡易点検含む）は庶務課契約の委託に含まれているため、当該施設では点検実施せず。施設側に3ヵ月に1回以上必要との認識がなかったため、庶務課と連携し状況把握に努める必要性を提案した。
	子ども家庭支援センター	マニフェストの照合確認欄の日付の記載が無かったため、記載を徹底するよう提案した。
		機器の簡易点検が実施されていなかった。これ自体は直ちに指摘とはならないものの、建物管理者が簡易点検を実施している認識もなかったため、建物管理者との契約状況を再度確認するなど状況把握に努める必要性を提案した。